

混合交通を観察する
DOCUMENT
series—190
Eye

●商業施設内(大型ショッピングセンター)の駐車場でクルマを降りた歩行者の行動を観察する
**駐車場内の通路を横断する歩行者299人中
左右の安全確認を行わない歩行者197人**

●WHY

駐車場内での歩行者の安全確認状況は?

最近、各地で郊外型の大規模な商業施設が建設され、おおいに賑わいをみせて



●観察場所/神奈川県鎌倉市内の商業施設
●観察日/11月4日(金曜日)
●天候/晴れ
●観察時間/10:30~11:30(1時間)
●観察者/3名



写真上/手を挙げて横断歩道を渡ろうとする高齢の女性
写真下/夫婦と思われる高齢者は男性の後ろを女性が歩くケースが多かった

●WATCHING

左右確認をせず、店舗に向かう歩行者が多い

いる。その多くは広大な駐車場があり、来場客のほとんどがクルマで買物に来るところが、このような商業施設内で歩行者を巻き込んだクルマと人との事故が起きるケースを耳にする。
駐車場内の通路を横断する歩行者は左右確認をしっかりと、クルマにも注意をしているか、郊外の商業施設で観察してみた。

観察場所は神奈川県鎌倉市の複合型商業施設の屋外駐車場。屋内・屋外を含め約1400台分の駐車スペースがある。ここにはスーパーマーケットをはじめ、ホームセンター、ファミリーレストラン、カメラ店、メガネ店、書店などが出店している。観察を開始した午前10時30分には屋外駐車場の7割以上は埋まっていた。
駐車場内ではクルマは一方通行で、駐車場の入口から店舗までの100mほど



駐車場内ではショッピングカートを押している歩行者も目立った

ある直線の途中には横断歩道が1カ所設けられていた。
1時間の観察で、駐車場と店舗の間の通路を横断した人は299人で、このうち197人が左右の確認をしていなかった。また、横断歩道を利用したのは40人だった。

左右確認を行わないのは、成人女性と高齢者に多かった。駐車しているクルマとクルマの間を抜け、通路にいても左右確認せずに、横断していた。幼児を連れた母親の多くは横断歩道を利用していたが、なかには携帯電話を使用し、周りに意識が行き届いていないと思われる母親もいた。
自分で運転して来店する高齢者の姿も多く見かけた。高齢者の夫婦では前を歩く夫が左右を確認し、妻は左右確認せずにそのまま夫に付いていくというケースがあった。高齢者ではこのほかに、クルマが接近しているにもかかわらず、左右を確認せずに屋外に展示してある商品に向かって歩いていく女性が観察された。一方、手を挙げて横断歩道を渡った女性も見られた。

●PROPOSE

駐車場内でも横断時は止まって左右確認を

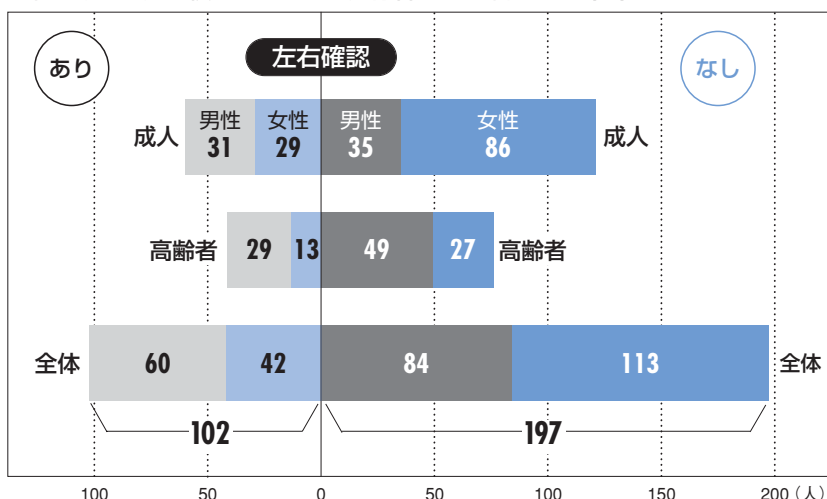
駐車場内ではクルマが比較的ゆっくりと走行しているため、歩行者はクルマから見られていると思ひ込み、油断して周囲を見ることを疎かにしがちだ。今回の観察では、クルマは徐行しているが、ドライバーの多くは空いている駐車スペースを探しながら運転しており、歩行者への注意は散漫になっているように思われた。歩行者は自分がドライバーに見られ



荷物を両手で持ち、子どもと手をつながない母親

ていない場合もあることを認識し、駐車場内でもクルマが通行する場所を横断する際は、一度止まって左右の安全確認を行ってほしい。ドライバーは駐車場内を走行したり、クルマを駐車する時は歩行者の接近に十分注意する必要がある。

●駐車場内の通路横断時における歩行者の左右確認状況(人)



※成人(20~64歳)、高齢者(65歳以上)の判断は観察者の見解による